

2020年10月20日(火)

東京など大都市近郊のゴルフ場やリゾートクラブの会員権が値上がりしている。緊急事態宣言解除後の上昇率は最大4割に達する。新型コロナウイルス禍でも密を避けて外出したいという富裕層の需要を捉えている。リゾートクラブは「ワーケーション」拠点としても注目されているようだ。

関東ゴルフ会員権取引業協同組合(東京・千代田)によると、関東圏のゴルフ場150コースの平均価格は9月が1661万円と15カ月連続で前年同月を下回った。過去20年ほぼ下落基調だ。ただ足元では個人の売買が回復している。コロナで海外旅行が制限される中、

ゴルフ場・リゾートクラブ 都市近郊 会員権高く



東京近郊のゴルフ会員権の価格は上昇している(茨城県のゴルフ場)

最大4割 富裕層、密を回避

富裕層に高額な会員権を
買う動きがみられる。
仲介大手の桜ゴルフ
(東京・中央)によると、
7～9月の個人の買い注
文は403件と売り注文

の1.5倍に上った。府(佐川八重子社長)。多
中カントリークラブ(東
京都多摩市)の10月上旬
の会員権価格は6月末比
29%高の270万円。東
京国際ゴルフ倶楽部(同
町田市)は7%高い15
0万円。磯子カンツリー
クラブ(横浜市)は7%
高い1550万円。河口
湖カントリークラブ(山
梨県富士河口湖町)は40
%高い28万円となった。
1月に年会費を支払う
ものが多く会員権は例年
秋口に売りが増えるが
「今年は買いの方が多い」
二極化している(愛知

ゴルフ・サービス「名古屋
屋市」という。
リゾート会員権も都心
の近くの物件が人気だ。
販売仲介のe会員権(横
浜市)によると、9月の
平均価格は前月比1.6
%高い249万円。リゾ
ートトラストが運営する
エクシブの上級「山中湖
Kタイプ」の9月の価格
は6月比33%高い250
万円。「箱根離宮ECタ
イプ」は10%高の220
万円。最上級「軽井沢△
セオスタイプ」も8%高
の650万円だった。
2008年のリーマン
危機後は取引件数が急減
し、前年並みに戻るまで
約5カ月かかった。だが
今回のコロナ禍に伴う落
ち込みは4月以降1～2
割増えている(能勢美季)

「ワーケーション」需
要も広がっている。リゾ
ートクラブを運営するブ
リンスホテルは9月の取
引件数が7月の1.5倍。
特に軽井沢の人氣が高
く、会議室での会議や会
食、ゴルフを楽しむ会員
が目立つ。セラヴィリン
ート泉郷(東京・豊島)
では、仕事を持ち込み1
人でコテージに3～4泊
する顧客が増えていると
いう。